

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		市町村消費者行政推進協議会参画事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	030203000698
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	030301
		0302 防犯・消費生活対策の推進						課長名	生活環境課
政策体系		政策名						グループ	市民活動・交通安全G
		03 安全安心な暮らしのまちづくり						担当者名	
		施策名							
		02 防犯・消費生活対策の推進							
		手段名							
		03 ③消費生活対策の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目						単年度繰返し (年度~)			
会計						一般会計			
01 07 01 03 01 00						消費者行政事業			
法令根拠						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市町村消費者行政推進のため、県と連携して意見・情報交換、並びに多様化する消費者問題に対応できる担当職員の資質向上のための事業を実施するために、負担金を納付する事業である。平成25年度より県西ブロック消費者行政担当者研修会で視察研修を行うなど県及び市町村の消費者行政に関する情報や意見交換を行った。	【担当者が行う業務】 ・負担金の納付 ・担当者会議及び研修会等の参加 【事業費】 ・負担金

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・負担金の納付 ・担当者会議及び研修会等の参加	会議回数	回	2.00	0.00	2.00	2.00	2.00
	研修会参加回数	回	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
・市町村消費者行政担当者 ・県西ブロック消費者行政担当者	消費者行政担当者数	人	183.00	170.00	170.00	170.00	170.00
	県西ブロック担当者数	人	40.00	41.00	41.00	41.00	41.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
消費者行政担当者の意識の高揚	会議等参加数	人	72.00	0.00	70.00	70.00	7.00
	県西ブロック研修会参加人数	人	0.00	0.00	20.00	20.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	9	9	9	0
	事業費計 (A)	千円	9	9	9	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	1.00人	

02年度事業費 実績 (千円)

03年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	02年度実績	03年度予算
18 負担金補助及び交付金	9	9
合計	9	9

事務事業名	市町村消費者行政推進協議会参画事業	事務事業No.	30203000698	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 消費者行政の効果的な推進を図る。 社会の変化に応じ、トラブルや被害が発生した際に、迅速・適切な解決や被害者救済が円滑にできるよう消費者行政担当者の情報交換等を実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ この事業を展開するには、県及び県西ブロックと連携を図り更に密にして取り組む必要がある					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 消費者行政の効果的な推進を図り、トラブルや被害防止に対し、消費者行政担当者の情報交換を行うことで迅速・適切な対応ができています。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 消費者問題は年々巧妙かつ悪質化していることから、市民に対して安心な相談対応ができるよう県及びブロックで協力して支援していくことは必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 充実した消費者施策を県及びブロックで連携していくためには、現状維持が望ましい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県と連携して行っている事業であり、消費者被害がある限り廃止・休止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 県より案分された事業費であるため、削減できない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 県と連携し、市民のため消費者問題に対応している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	消費者問題は年々巧妙かつ悪質化していることから、市民に対して安心な相談対応できるよう県及びブロックで情報交換を密に行う必要である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>